

進路通信 第3号

大阪府立八尾支援学校
進路部
平成30年7月3日

盛夏の候、日頃は本校の進路指導についてご理解ご協力をいただき、お礼申し上げます。

先日、ハローワーク布施主催で地域の学校教職員対象の打合せ会議がおこなわれました。今回の進路通信では、その会議の中から、卒業後の就労に向けて必要なことや大切にしたいこと等の内容についてご報告いたします。

『ハローワークと就職について』

1. ハローワークの利用の仕方

- 大阪府には主なハローワークは16か所あります。
- 八尾市・東大阪市など校区と重なる管轄のハローワークは、ハローワーク布施になります。
ハローワーク布施 東大阪市長堂 1-8-37 イオン布施駅前店4F
『様々な障がいのある方が様々な方法で就職しています。働く年齢や就職する段階になれば、まず一度相談に来てください』とのことでした。

2. どんな仕事が多いか？

- 最近の動向としては、常時2200件程度の求人があります。
- 主な職種は、サービス業・ものづくり・パソコンを使った業務など
- 正社員は少なく、契約社員やパート社員で活躍していることが多いです。
例：時給909円 1日6時間 週5日勤務 月収約12万円 手取り10万円
- 希望条件の緩和
100%理想通りの仕事に就くことは難しいことが多いです。仕事内容を優先するのか、近くにある職場を選ぶのか、『何を優先するのか考えることが必要になります』とのことでした。

3. 卒業までどう過ごすのか？

“生活リズムを整える”

会社の仕事（業務）は、やっているうちに覚えていくものです。

まず、休まない、遅刻しないことが大切です。

そのために食事や睡眠をしっかりととることや夜遅くまでスマホやゲームのしすぎに注意が必要です。

“学校や家での過ごし方”

お手伝いを積極的にしましょう。与えられた役割をやり遂げる経験はとても大切です。

洗濯物をたたんだり、食器洗いなど手先を使った作業は仕事にも繋がります。

“働きたい気持ち”

会社は厳しいです。決められた仕事は、きちんとやり遂げなければなりません。

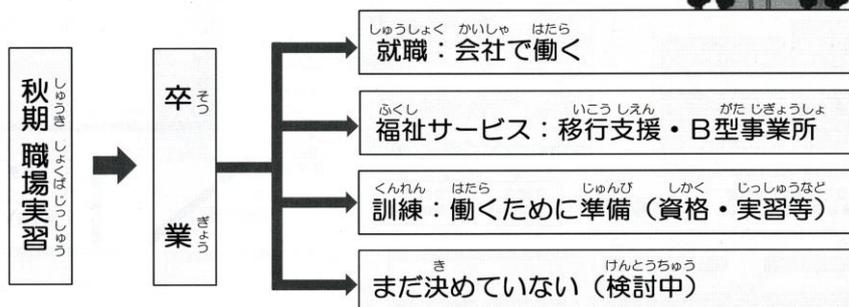
働くといいこと、働く上で我慢しなければいけないことがあります。

『お金がもらえる（生活）』『好きなものが買える』『誰かの役に立つ（やりがい）』など働く目的や働く気持ちを強く持ち続けることが大切です。

4. 就職以外の進路先

がっこう そつぎょう
■ 学校を卒業したら、どうしますか？

がっこう そつぎょう さまざま しんろ
 学校を卒業したら、様々な進路があります。



就職への道は本人に合わせて
 様々な方法が考えられます。

卒業後の生活に向けて中長期的な
 イメージを持ちましょう。

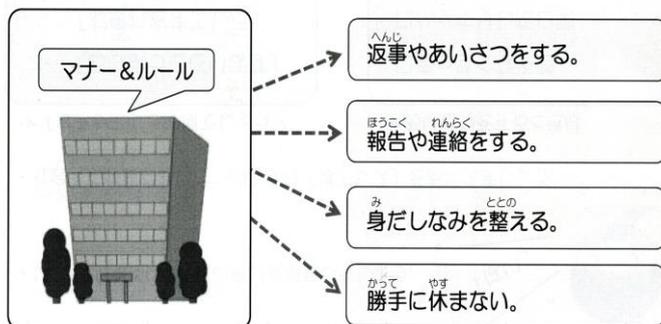
がっこう まな じっしゅう とお けいけん きちよう ざいさん
 学校で学んだこと、実習を通して経験したことは貴重な財産です。

5. 社会人になるために大切なこと

- 仕事をしやすくするため、健康に努める。
- 決められた時間を守る。

はたら 必要 かいしゃじん
■ 働くために必要なこと（社会人のマナーとルール）

しゃかいじん はた 守らなければならないことがあります。
 つぎ まも
 次のことを守りましょう。



へんじ
■ 返事やあいさつをする。

• いつも「はい」と元気の良い返事をしましょう。

• 社会人に必要なあいさつのきまり「オアシス」をおぼえましょう。

☞「オアシス」って何でしょう？

オ…「おはようございます」
 「お疲れさまでした」
 ア…「ありがとうございます」
 シ…「失礼します」
 ス…「すみません」

☞ あいさつをするときは

まっすぐな姿勢
 ハッキリした口調
 笑顔
 相手の目を見る。
 自分から、あいさつする。

6. 就職後の手続き、困った時の相談機関

- 職場で困ったときは会社に相談するのが一番ですが、相談しづらいこともあります。もちろん学校やハローワークもありますが、障害者就業・生活支援センターでの相談ができます。
- 『やめたい』『やめる』ことを会社に申し出ることは容易にできますが、その後の再就職は容易ではありません。
 会社に申し出るまでに学校、ハローワーク、障害者就業・生活支援センターまで相談することをおすすめしますとのことでした。

これから高等部の中には企業へ実習に行く生徒がいます。実際に働くのは本人ですが、保護者の方のさまざまな協力は不可欠です。生徒にとってよりよい進路決定に向けて、本校の教育活動に今後ご理解・ご協力よろしくお願ひします。